



2017. 9.

9月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

「平和」とは、辞書などによると「戦争がなく世の中が穏やかなこと」を指すそうです。日本は先の戦争を反省し、戦争と、武力による威嚇、武力の行使を抛棄しています。

日本のYMCAは「アジア太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、世界の人びとと共に平和の実現に努めます」と日本YMCA基本原則で宣言しています。

この夏は日本の周辺がざわつき、報道する側にそのような意図はないにしても、繰り返される「緊迫した」印象のTVニュースに不安が煽られました。

そして、それぞれの国の指導者が「自国最優先」を謳い、他国を貶めることで愛国心を煽り、拳を振り上げて大きさや高さで威嚇しあっています。そんなやり方に嫌な思いをいただきながら、いつの間にか、隣国に対して根拠が判然としない嫌悪感や敵対心を持ち始めている、そんな自分に気づきました。

自分の考えや信条と違っているものを排除するのではなく、その違いと、置かれている状況を理解しようと努めることの重要性を知っているのに、日々溢れている情報に流されている自分に、日常に潜む危うさを感じました。

『量が多く印象の強い情報』＝『正しい情報』とは限らないし、電子媒体では、画面の体裁やデザインと発信元の信頼性とは無関係だという事実も忘れてはならないと思いました。

毎年夏は平和について考えるのですが、ニュースやインターネット、その他様々なメディアを通じて流される情報について、その背景や経緯を知ろうと努め、国を超える情報には、その国の権力者や声の大きな人たちではなく、抑圧され、小さくされている人たちの声に思いを馳せて、自分はどうかあるべきかを考えたいものだと思います。

年主題 『愛されて育つ』

<年主題聖句> 「あなた方は神に愛されている子供です」
(エフェソの信徒への手紙 5章 1節)

9月主題 『いっしょに』

<聖句> 「求めなさい。そうすれば、与えられる。」
(マタイによる福音書 7章 7節)